

H20健全で豊かな森林づくりプロジェクト フォローアップ委員会 フォローアップシート

◆達成度に関するアドバイス

- ・将来の木材生産性を10m³/人・日程度に目標設定し、引き続き生産性の向上に努めて下さい。
- ・総量で生産性を管理・明示するのではなく、他との比較考慮を通じて客観的に改善点を把握し生産性を向上させるため、3工程(営業、作業道、木材生産)程度に区分した生産性の管理・明示に努めて下さい。

◆成果に関するアドバイス

- ・該当無し(特段の発言無し)

◆効率性に関するアドバイス

- ・周囲の森林全体を見て効果的に道を配置することはもちろん、将来の作業システムまで想定したうえで、縦断勾配や曲線設置に配慮した作業路の開設に努めて下さい。
- ・丸太組の施工に当たっては、腐朽対策として最下段の縦杭、及び桁丸太を必ず埋設処理するとともに、荷重が直接影響する状態での路肩部分への丸太組施工は避けて下さい。
- ・丸太組横木に掛かる土圧を少しでも軽減するため、水平若しくはやや土羽下方向に向けた設置に留意して下さい。
- ・斜度に応じて作業システムを選択することができるよう、当該地域における道づくり技術指針の策定を検討して下さい。
- ・作業システムの実現については柔軟に対応し、将来目標とする木材生産性の達成に必要と考えられる手法の選択(グラップルやハーベスタ等の活用)について、引き続き組織内部で検討を重ね合意形成を図って下さい。

◆妥当性に関するアドバイス

- ・一定度の経験年数を要する施業プランナーを早期に養成するため、日常業務の中で施業提案書を活用するトレーニング機会の創出を検討して下さい。

◆発展性に関するアドバイス

- ・森林所有者の満足度向上により業務量の確保等を図るため、森林所有者に対する一層の普及啓発(完成した作業路を見せて納得してもらう等)に努めて下さい。

◆総括に関するアドバイス

- ・先入観を持って立ち止まることなくまずは実践してみるとともに、何もかも全部揃ってからスタートするのではなく、失敗を恐れず走りながら創意工夫を重ねることを期待します。

◆フォローアップ委員会の開催状況

平成20年12月26日

日 時： 平成20年11月25日(火)
 場 所： 恵那市上矢作地内
 参加委員： 三島 喜八郎 (社)岐阜県森林組合連合会 代表理事副会長
 湯浅 勲 日吉町森林組合 理事兼参事
 対 象： 恵南森プロ(恵南森林組合)



プロジェクトの概要説明



施業後の林分



ラジキャリによる搬出実績



「露出した最下段の桁丸太と縦杭」の改善点をアドバイス



「丸太組工法」の改善箇所をアドバイス



「丸太組横木の設置勾配」の改善点をアドバイス



「道づくりのコンセプト」についてアドバイス



「道の標準断面と木材生産性」に関するアドバイス

H20健全で豊かな森林づくりプロジェクト フォローアップ委員会

委員長

三島 喜八郎